

今夏の節電に対する取組みについて

ー 日本興亜版スーパークールビズ、全拠点でノー残業(8月) ー

日本興亜損害保険株式会社(社長 二宮 雅也)では、今夏の電力需要抑制への取組みとして、下記のとおり節電対策を行いますので、お知らせします。これらの取組みにより、今夏の東京電力・東北電力管内の弊社店舗等におけるピーク電力を昨夏対比で15%以上削減いたします。

1. 弊社店舗における節電の取組み

- ・ 総合研修センター(茨城県守谷市)の一時閉鎖
- ・ 執務エリア、廊下・エントランス等の照明の間引き、不在エリアの消灯
- ・ 空調28℃設定の徹底
- ・ パソコンの輝度の引き下げや、未使用時の電源OFFの励行
- ・ プリンタ・コピー機などOA機器の使用削減
- ・ エレベータの間引き運転、電気給湯設備の停止等

*この節電の取組みは、従前より実施している省エネ活動の徹底・強化を中心としたものです。
また、東京電力・東北電力管内以外の地域でも上記に準じて徹底・強化を行います。

2. 勤務面での取組み(全拠点)

○日本興亜版スーパークールビズの実施

従来からの取組みであるクールビズを進化させた「スーパークールビズ」を実施します。具体的には、ポロシャツやチノパンに加え、執務室ではTシャツやサンダルでの勤務も可とします。

○夏のノー残業デイ、全社一斉消灯

8月は原則、全国すべての拠点において全営業日ノー残業デイ(18時一斉消灯)に取り組めます。

3. 代理店・従業員への周知・節電の啓発

弊社代理店や家庭における従業員の節電に向けて、積極的に情報提供を行うとともに、広く節電の呼びかけを行います。